



# 世界柔道 2015

男子個人 100 kg級  
女子 団体

# 羽賀 山本

世界柔道選手権（2015年8月24日～30日）が、カザフスタン・アスタナで開催され、朝飛道場出身の羽賀龍之介選手（男子100キロ級）と山本杏選手（女子団体57キロ級）が日本代表として出場致しました。

羽賀選手の階級はかつて、井上康生、鈴木桂治、穴井隆将といった世界チャンピオンを輩出してきた階級でした。しかし昨年の世界選手権で、日本男子100kg級は代表選手派遣を見送られました。「自分が世界で戦えるレベルでなかったと一年間自分に言い聞かせてやってきた」という言葉の通り、その悔しさをバネに努力を惜しまず、モンゴルへ単身武者修行するなど様々なことにも取り組んできました。その後ヨーロッパオープン、GPデュッセルドルフと立て続けに優勝したことで自信をつけ、心技体すべてにおいて逞しく成長していました。

そして迎えた初めての世界選手権。100kg級は強豪が非常に多く、初戦から気の抜けない試合が続きましたが、羽賀選手得意の内股を武器に1・2回戦を一本勝ちで勝ち上がりました。その後、反則ポイントをリードされてしまう場面もありましたが一戦一戦粘り強く戦い準決勝に進出しました。

### ◆予選ラウンド◆

- 1回戦 羽賀龍之介 ○内股（3：23）▲ジュリシック（セルビア）
- 2回戦 羽賀龍之介 ○内股（2：55）▲フロル（オランダ）
- 3回戦 羽賀龍之介 ○技有（内股）▲趙グハン（韓国）
- 4回戦 羽賀龍之介 ○指導2 ▲ペターズ（ドイツ）

羽賀選手のご両親から聞いたお話ですが、準決勝を前に羽賀選手は控室にご両親を呼んで、特に何を話すわけでもなく試合までの時間を一緒に過ごしたそうです。

準決勝直前、父・善夫さんから『準決勝まで来たんだから泣いても笑っても2試合しか出来ない。だから思いっきりやれよ』と声を掛けられ、羽賀選手は『俺、絶対優勝するよ』とあって控室をあとにしたそうです。

準決勝では、フランスの強豪・マレ選手を逆転の内股有効で下し決勝進出しました。

決勝戦の相手はドイツ・フレイ選手。お互い一歩も譲らず、組み合せて攻めあうとても素晴らしい試合で、羽賀選手が指導1つの差でリードしたまま試合終了。ついに世界一の座を手に入れました。

◆決勝ラウンド◆

準決勝 羽賀龍之介 ○有効（内股） ▲マレ（フランス）

決勝 羽賀龍之介 ○指導2 ▲フレイ（ドイツ）

『結果を残せば全てが報われると思ってやった。気持ちで負けなかった。結果が残せてひと安心』と涙を堪えながらインタビューに答えている姿に、想像以上に大きいプレッシャーがあったことを感じさせられました。この優勝は来年のリオデジャネイロオリンピックに向け大きな自信になったと同時に、日本選手のみならず海外選手からも目標になり、これまで以上に研究され、厳しくマークされることと思われます。更に技術を進化させ、今以上の力を付けてオリンピックイヤーを迎えて欲しいと思います。

大会最終日（大会7日目）女子団体戦にて朝飛道場OGの山本杏選手が出場することとなり、57kg級（次鋒）でエントリーされました。

同階級には、57kg級で金メダルを獲得した松本薫選手もエントリーされておりましたが、山本選手が初戦から決勝まで全試合出場しました。

1回戦 日本5-0ブラジル

山本 杏○小内刈▲シルバ

2回戦 日本5-0中国

山本 杏○横四方固▲リュウ

準決勝 日本5-0モンゴル

山本 杏○小内刈▲スミヤ(モンゴル)

決勝戦 日本5-0ポーランド

山本 杏○十字固▲ポドラク(ポーランド)

山本選手は、4月の選抜体重別選手権では決勝戦で松本 薫選手に競り合いながらもゴールデンスコアによる指導1差で敗れ個人戦の代表を逃しました。

この団体戦ではその悔しさをはらすような闘志溢れる試合を見せてくれました。初戦から動きが良く足技が冴え全試合一本勝ちで日本の優勝に貢献しました。

今大会、羽賀・山本の両選手の活躍は朝飛道場にとって大変喜ばしいことでした。また、羽賀選手の優勝は、朝飛大先生が館長になられて初の世界チャンピオンであり、友の会と致しましても大変嬉しく思います。羽賀、山本両選手につづいて、今後も朝飛道場から世界に羽ばたく選手が誕生してくれることを大いに期待しております。

## 試合結果報告

### 第25回 マルちゃん杯関東少年柔道大会

平成27年7月12日（日） 於 東京武道館

【小学生団体戦】 **優勝**（2年連続 5回目）

先鋒 朝飛、次鋒 金子、中堅 小田、副将 佐藤、大将 宮崎

【中学生男子団体戦】 ベスト8（**全国大会代表決定**）

先鋒 藤江、次鋒 工藤、中堅 長嶋、副将 鈴木、大将 秦

【中学生女子団体戦】 ベスト8

先鋒 猪川、中堅 倉沢、大将 朝飛



### 平成27年度 全日本少年少女武道錬成柔道大会

平成27年8月2日（日） 於 日本武道館

【低学年の部】 **優秀賞**（ブロック**優勝**） 2年連続 11回目

先鋒 青山、次鋒 芳垣、中堅 中村、副将 市村、大将 北尾

【高学年の部】 **優良賞**（ブロック**準優勝**）

先鋒 朝飛、次鋒 金子、中堅 小田、副将 佐藤、大将 宮崎



## 第40回 関東中学校柔道大会

平成27年8月8日(土)～10日(月)

於 埼玉県立武道館

### 【男子個人戦】

|       |                  |        |       |
|-------|------------------|--------|-------|
| 林 航輝  | (横浜市立六角橋中学校 3年)  | 50 kg級 | ベスト 8 |
| 東山 祐汰 | (横浜市立六角橋中学校 2年)  | 55 kg級 | 2回戦敗退 |
| 賀持 喜道 | (安田学園中学校 3年)     | 81 kg級 | 優勝    |
| 秦 七伎  | (市川市立市川第七中学校 2年) | 90 kg級 | ベスト 8 |

### 【女子個人戦】

|        |                 |        |       |
|--------|-----------------|--------|-------|
| 石川 梨夏子 | (渋谷教育渋谷中学校 3年)  | 57 kg級 | ベスト 8 |
| 朝飛 真実  | (横浜市立六角橋中学校 2年) | 70 kg級 | 優勝    |



## 第46回 全国中学校柔道大会

平成27年8月17日(月)～20日(木)

於 北海道・函館アリーナ

### 【男子個人戦】

|       |                  |        |       |
|-------|------------------|--------|-------|
| 東山 祐汰 | (横浜市立六角橋中学校 2年)  | 55 kg級 | 2回戦敗退 |
| 藤江 知樹 | (川崎市立富士見中学校 3年)  | 73 kg級 | 1回戦敗退 |
| 賀持 喜道 | (安田学園中学校 3年)     | 81 kg級 | 第5位   |
| 秦 七伎  | (市川市立市川第七中学校 2年) | 90 kg級 | 2回戦敗退 |

### 【女子個人戦】

|        |                 |        |     |
|--------|-----------------|--------|-----|
| 石川 梨夏子 | (渋谷教育渋谷中学校 3年)  | 57 kg級 | 第5位 |
| 朝飛 真実  | (横浜市立六角橋中学校 2年) | 70 kg級 | 第5位 |

### 【男子団体戦】

|     |          |             |
|-----|----------|-------------|
| 優勝  | 安田学園(東京) | (副将: 賀持 喜道) |
| 第5位 | 大成(愛知)   | (副将: 藤鷹 裕大) |



## 第64回 全国高等学校柔道大会

平成27年8月8日(土)～12日(水)

於 奈良県・天理大学礼之内第一体育館

### 【男子個人戦】

|       |                  |          |        |
|-------|------------------|----------|--------|
| 鈴木 練  | (東海大付属相模高等学校 3年) | 66 kg級   | 第3位    |
| 鈴木 連次 | (東海大付属甲府高等学校 3年) | 90 kg級   | 第5位    |
| 辻 湧斗  | (東海大付属相模高等学校 2年) | 100 kg超級 | ベスト 16 |

### 【女子個人戦】

|       |               |        |        |
|-------|---------------|--------|--------|
| 朝飛 七海 | (桐蔭学園高等学校 1年) | 63 kg級 | ベスト 16 |
| 今 唯   | (藤枝順心高等学校 3年) | 63 kg級 | 1回戦敗退  |

### 【男子団体戦】

|        |                  |             |
|--------|------------------|-------------|
| 第5位    | 東海大付属相模高等学校(神奈川) | (大将: 辻 湧斗)  |
| ベスト 16 | 東海大付属甲府高等学校(山梨)  | (副将: 鈴木 連次) |

### 【女子団体戦】

|       |               |             |
|-------|---------------|-------------|
| 第3位   | 桐蔭学園高等学校(神奈川) | (大将: 朝飛 七海) |
| 1回戦敗退 | 藤枝順心高等学校(静岡)  | (中堅: 今 唯)   |

